

※例1：発生時期や時間を中心に学習。発生場所による違いは読み合わせで確認する場合の例

発生時期や場所に応じた身の守り方

年 組 番 名前（ ）

地震が発生する時期や時間、場所などに対応して、特に注意することや、身を守るために気をつけることなどを考えて書いてみましょう。

発生時の状況		どんなことに注意が必要か	身を守るために気をつけることや行動
発生時期や発生時間の違い	冬に発生	<ul style="list-style-type: none">・石油ストーブが倒れて何かに引火する	
	夜や早朝に発生	<ul style="list-style-type: none">・停電で周囲（家の中や外）が真っ暗になる・周囲の状況がわからない、確認できない・就寝中に家具や物が倒れてけがをする	
	食事準備時に発生		<ul style="list-style-type: none">・燃え広がらないうちに火を消す・テーブルの下などにもぐり身を守る
	休日に発生		
	平日の昼間に発生	<ul style="list-style-type: none">・仕事や学校で家族がばらばらになる・自動車に乗っている時に地震にあう・避難する人たちが学校にやって来る	
発生場所の違い	都市部で発生	<ul style="list-style-type: none">・ビルなどからガラスや看板などが落ちてくる・建物が崩れてきて、下敷きや生き埋めになる人が多い・いろいろな場所から火事が発生する・停電で信号が消え、渋滞や事故が発生する・電車などが止まり、移動が困難になる	<ul style="list-style-type: none">・ビルや建物から離れて、早く安全な場所に避難する・建物や火事の状況を確認しつつ避難する・道路の様子に気を配りながら避難する・駅員や店員などの誘導にしたがう
	山間部で発生	<ul style="list-style-type: none">・がけ崩れなどで家や道路が壊れる・川が土砂で埋まり土石流が起こりやすくなる・地すべりが起こりやすくなる・道が寸断し、孤立する家や集落が出る	<ul style="list-style-type: none">・がけや家から離れて早めに避難する・家族や近所の人と一緒に避難する

※例2：注意することはあらかじめ提示し、身の守り方について考えさせる場合の例

発生時期や場所に応じた身の守り方

年 組 番 名前（ ）

地震が発生する時期や時間、場所などに対応して、特に注意することや、身を守るために気をつけることなどを考えて書いてみましょう。

発生時の状況		どんなことに注意が必要か	身を守るために気をつけることや行動
発生時期や発生時間の違い	冬に発生	<ul style="list-style-type: none">・石油ストーブが倒れて何かに引火する・停電で暖房器具が使えなくなる・地震による雪崩（なだれ）が発生する・雪が崩れ道路をふさぐ。道路が凍っている・雪の重さも加わって家が壊れやすくなる	
	夜や早朝に発生	<ul style="list-style-type: none">・停電で周囲（家の中や外）が真っ暗になる・周囲の状況がわからない、確認できない・就寝中に家具や物が倒れてけがをする	
	食事準備時に発生	<ul style="list-style-type: none">・コンロの火が何かに燃え移る・包丁や食器などが落ちてくる	
	休日に発生	<ul style="list-style-type: none">・レジャーなどの外出先で地震にあう・店やまちなかで地震にあう（エレベータの閉じ込め、避難時の混乱）・家族がばらばらな時に地震にあう	
	平日の昼間に発生	<ul style="list-style-type: none">・仕事や学校で家族がばらばらになる・自動車に乗っている時に地震にあう・避難する人たちが学校にやって来る	
発生場所の違い	都市部で発生	<ul style="list-style-type: none">・ビルなどからガラスや看板などが落ちてくる・建物が崩れてきて、下敷きや生き埋めになる人が多い・いろいろな場所から火事が発生する・停電で信号が消え、渋滞や事故が発生する・電車などが止まり、移動が困難になる	
	山間部で発生	<ul style="list-style-type: none">・がけ崩れなどで家や道路が壊れる・川が土砂で埋まり土石流が起こりやすくなる・地すべりが起こりやすくなる・道が寸断し、孤立する家や集落が出る	

教職員用資料

発生時の状況		どんなことに注意が必要か (二次災害や避難を含めて)	身を守るために 気をつけることや行動
発生時期や発生時間による違い	冬に発生	<ul style="list-style-type: none"> ・石油ストーブが倒れて何かに引火する ・停電で暖房器具が使えなくなる ・地震による雪崩（なだれ）が発生する ・雪が崩れ道路をふさぐ。道路が凍っている ・雪の重さも加わって家が壊れやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃え広がらないうちに火を消す ・安全、暖かい場所に避難する（避難所など） ・周囲の状況に注意し避難する ・車の通行に注意しながら移動、避難する
	夜や早朝に発生	<ul style="list-style-type: none"> ・停電で周囲（家の中や外）が真っ暗になる ・周囲の状況がわからない、確認できない ・就寝中に家具や物が倒れて怪我をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から懐中電灯などを用意しておく ・あわてて外に飛び出さない ・家具の転倒防止器具などで備えておく
	食事準備時に発生	<ul style="list-style-type: none"> ・コンロの火が何かに燃え移る ・包丁や食器などが落ちてくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃え広がらないうちに火を消す ・テーブルの下などにもぐり身を守る
	休日に発生	<ul style="list-style-type: none"> ・レジャーなどの外出先で地震にあう ・店やまちなかで地震にあう（エレベータの閉じ込め、避難時の混乱） ・家族がばらばらな時に地震にあう 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先では安全な場所で様子をみる →あわてて家に戻ろうとしない ・エレベータは利用しない。閉じ込められたら落ち着いて救助を待つ
	平日の昼間に発生	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や学校で家族がばらばらになる ・自動車に乗っている時に地震にあう ・学校に避難する人たちがやって来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難する場所や安否の連絡方法などを家族で話し合っておく ・車では避難せず、歩いて避難する
発生場所の違い	都市部で発生	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルなどからガラスや看板などが落ちてくる ・建物が崩れてきて、下敷きや生き埋めになる人が多い ・いろいろな場所から火事が発生する ・停電で信号が消え、渋滞や事故が発生する ・電車などが止まり、移動が困難になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルや建物から離れて、早く安全な場所に避難する ・建物や火事の状況を確認しつつ避難する ・道路の様子に気を配りながら避難する ・駅員や店員などの誘導にしたがう
	山間部で発生	<ul style="list-style-type: none"> ・がけ崩れなどで家や道路が壊れる ・川が土砂で埋まり土石流が起こりやすくなる ・地すべりが起こりやすくなる ・道が寸断し、孤立する家や集落が出る 	<ul style="list-style-type: none"> ・がけや家から離れて早めに避難する ・家族や近所の人と一緒に避難する